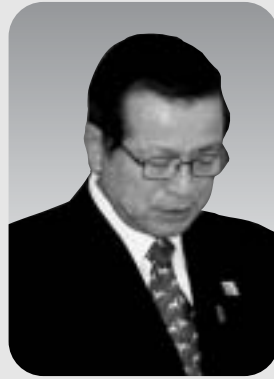


町長行政報告

平成18年12月定例議会での報告



湯沢町長 上村清隆

今秋より湯沢温泉の宿泊客に越後湯沢産コシヒカリの新米を味わってもらおうべく、新米キャンペーンを始めました。生産者の皆様のご協力により320俵が納品され、宿泊客に大好評と聞いております。又、新潟県と連携し国際観光を推進するため、中国から旅行関係者を招き商談会を開催したところであり、今後の送客を期待するところであります。町民の皆様が住んでいる町をどのように見ているのか。

そして行政に何を望んでいるのか。町民満足を目指して、職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、手作りのアンケートを実施しながら挨拶や接遇の改善に取り組んでまいります。

役場組織改革については、現在の11課1事業所1局3室33係を見直し、「スムーズな意思決定と伝達、新しい行政ニーズに対応する行政運営」を目指して8課1局に削減するとともに、課の中に20班を配置したスリム化を目指して、今議会に条例改正を提案させていただきます。観光事業の民営化について、町民皆様への説明会および商工会観光協会の役員への説明会を開催し、民営化を決定し

た経緯と今後の方針についてご説明申し上げました。今議会に「湯沢温泉ロープウェイ施設等賃貸借契約書」を提案させていただきます。2009年に開催される国体と前年のインターハイに向け、湯沢町実行委員会設立総会が開催され、各委員会も本格的な活動に入っております。まちづくり交付金事業で実



今秋完成予定の土樽・越後中里間 線橋

施している中里こ線橋架替工事は2ヶ年の継続工事で行っており、19年11月に完成の予定です。この他、中央公園整備事業や、地方道路交付金事業にも着手しております。今年度の道路除雪については、昨年の豪雪の教訓をもとに、安全で効率の高い除雪を進めてまいります。